

資料①

第4回分科会資料

2006年1月

本日の分科会の目的と成果物

- 強み・弱み、機会・脅威を整理し、重点課題を抽出します
- 第3回で検討した強み・弱み、機会・脅威をそれぞれを掛け合わせる事により重点課題を抽出します
- 重点課題の抽出にあたって、市民アンケート結果も参考にしてください

本日の分科会の2つの成果物

①内部・外部環境分析

内部環境	S(強み)	W(弱み)
	O(機会)	T(脅威)
外部環境		

②重点課題検討表

内部環境分析		
SWOT分析 重点課題検討表	強み (Strength)	弱み (Weakness)
外部環境分析	機会 (Opportunities)	弱みを強化して機会を逃さないための課題
	脅威 (Threats)	強みを強化して最悪の事態を招かないための課題

議事次第

- 分科会は合計2時間で行います
- 重点課題抽出の方法を解説し、その後グループで議論を行います

次第	時間	内容
1 開会	5分	①挨拶 ②出欠確認(出欠表の記入) ③前回の検討内容(議事録・整理表)の確認
2 検討の進め方	10分	①検討の進め方に関する説明 ②本日の目標確認 ③市民アンケート結果紹介
3 話し合い	90分	①強み・弱み,機会・脅威の整理・確認 ③重点課題の抽出(各タイプ3～5程度)
4 とりまとめ	10分	模造紙にとりまとめ
5 閉会	5分	①次回の内容 ②次回の日程 ③意見・質問 ④最終総括(会長)

重点課題検討手順 ①重点課題検討表の検討

- 重点課題は、強み・弱みを把握した上で、内外の環境条件(機会・脅威)を踏まえて検討します
- 強み・弱みの中で伸ばすべきもの・克服すべきものを検討します
- 重要な課題を5つ程度に絞り込みます
- 検討結果は重点課題検討シートに整理します

<重点課題抽出の手順>

模造紙上で検討

Step1.

機会・脅威を受けて
強み・弱みの中で伸
ばすべき項目・克服
すべき項目を検討す
る

Step2.

伸ばすべき強み・克
服すべき弱みを5つ
程度に絞り込む

Step3.

検討結果を重点課
題検討シートに整理
する

重点課題検討手順 ②出来上がりイメージ 教育分野の例

※この表は、参考事例であり、宇都宮市を分析したものではありません

内部資源分析		
SWOT分析 重点課題検討表		
強み (Strength)		
教育活動に協力的な民間事業者の存在		
一定の質・量が確保された教育施設		
教育系NPOが育ってきている		
弱み (Weakness)		
外国語を話せる教員が少ない		
ITリテラシーを教えられる教員が少ない		
総合学習などマニュアルのない授業に対応できない教員が多い		
機会 (Opportunities)		
強みで機会を活かすための課題		弱みを強化して機会を逃さないための課題
国際化の進展により、英語を中心とした外国語能力が求められる		英語教育需要の高まりに対して、教員の英語力向上をはかる
自ら学び、自ら判断できるようになる教育が求められている		自ら学び、判断出来るようになるという教育ニーズに対して、民間事業者との連携によりディベートや意思決定・マネジメント等が学べる機会を提供する
体験学習や総合学習ニーズの高まり		体験学習・総合学習ニーズの高まりに対し、NPOと連携することによって幅広い実践的な教育サービスを提供する
情報社会化によるIT教育ニーズの高まり		ITリテラシー教育ニーズに対応するために、教員のITスキルを強化する
脅威 (Threats)		
強みで脅威を克服するための課題		弱みを強化して最悪の事態を招かないための課題
英語による一般教科科目へのニーズの高まり		英語による一般科目教授需要に対応するために、英語圏から当該科目講師を招聘する
子どもの安全管理・確保		子どもの安全確保のために、NPOと協力して域内パトロールを行う
実用性の薄い教育への批判		実用性の低い教育を回避するために、民間事業者と連携することにより、実践的な教育機会を提供する
少子化による児童・学生数の減少		児童の減少に対して、小中高の教員数や施設を徐々に縮小する
家庭の教育力の低下		家庭の教育力低下に対応するために、NPO等と連携し、地域全体で教育する体制を築く

SWOT分析結果(前回分科会検討結果)

強み

- ①首都圏からのアクセスが良い
 - ◆工場誘致
 - ◆他県からの定住が多い
 - ◆文化交流
- ②緑と水の自然に恵まれ風水害が少ない
- ③大谷地区の景観と大谷石による建造物を保有
- ④周辺部に豊かな住環境を得やすい
- ⑤自動車道路の整備が進んでいる
 - ◆内・外環状線

弱み(問題)

SWOT分析結果(前回分科会検討結果)

機会

循環型社会への移行

- ◇細分化されたゴミの処理の実態が求められる
- ◇資源リサイクルのため、分別が更に細分化される
- ◇公道等へのポイ捨てへの罰則が強化される
- ◇水の豊かさを大切に
- ◇高齢者も容易に理解できる分別細分化の手法が求められる
- ◇外国人労働者などへの資源リサイクルの教育説明が必要となる
- ◇分別が進むと現在のゴミステーションの形態が変わる
- ◇環境エネルギー
- ◇省エネ実現への国際的要求
- 分別が進むと無主物から有主物へ変わって行く
- ◇分別が進むとゴミ収集車は週7日稼働へと変わる
- ◇自治会内でのゴミ環境は美化へ転換する

行政役割の変化

- ◇広域行政の実現(道州制の導入)
- ◇小さな政府、地方行政開花のチャンス
- ◇地方都市間の連携強化
- ◇教育投資の増大

高齢者の貢献

- ◇団塊世代高能力者の時間的余裕
- ◇清原や芳賀の企業に勤める人の大量退職
- ◇元気な高齢者の社会参加余裕
- ◇無職の人が増加
- ◇高齢化により時間あまり世代が増え、文化・環境への関心が高まる

景観意識の高まり

- ◇地域性の見直しが高まり、市の独自性が問われる
- ◇本県の文化遺産に誇りをもつ
- ◇城址公園ができる(景観シンボル)

中心街への回帰

- ◇集中型都市の必要性
- ◇ミニ開発の限界
- ◇都市観光客の増加

生活意義の変化

- ◇大量消費のおわり
- ◇「満足」するジャンルが変わる
- ◇県民意識改革
- ◇個人教育
- ◇自然を重視する社会への回帰
- ◇ゆっくり生活への回帰(省資源、省エネ)
- ◇県民性を知るマナー、態度
- ◇使い回し方の質
- ◇生産されたものが再利用されるようになってきている
- ◇利便性需要→文化需要へ(より日常的な)
- ◇地産地消、Slow Lifeと地域への関心が高まっている
- ◇趣味の質
- ◇生活の質

他

- ◇外国人労働者の増加(低コスト)
- ◇道路インフラは良くなってきた
- ◇地価基準の崩壊
- ◇よその街のよいところを学ぶ

脅威

循環型社会への阻害

- ◇ゴミの最終処分場はいっぱいになる?
- ◇廃棄物課金
- ◇産廃処分場の枯渇

宮らしさの衰退

- ◇宇都宮のことを知らない宮っ子二世の増加
- ◇文化遺産への無関心
- ◇中心市街地に残された大谷石建造物の老朽化
- ◇景気の高まりと共に、歴史的景観が無くなって行く(蔵等の小規模な物)

ストックの増大

- ◇静かな住環境
- ◇空家、空き店舗の増加、廃墟化
- ◇中心市街地に増える駐車場、未利用地
- ◇建物老朽化
- ◇市中心部のスラム化
- ◇北関東道開通により、郊外型ショッピングセンターに益々依存する
- ◇中心市街地に急増するマンション
- ◇高齢化により車への依存度が低くなる
⇒中心部へ
- ◇郊外大型店の撤退
- ◇事業所や店舗の郊外転出

社会不安の増大

- ◇子どもの登下校時の安全確保
- ◇地域のコミュニティはこのままだと崩壊
- ◇規範意識の低下(ルールを守らない)
- ◇外国人労働者の増加(異文化のブツカリ)
- ◇若い人の社会参加意識の低下
- ◇社会階層化が進む(できる者とできない者)
- ◇ポイ捨てが後をたたない
- ◇労働人口の減少
- ◇元気な高齢者の社会参加圧力
- ◇高齢者医療費の増大

公共施設の維持不安

- ◇税收減により都市施設整備が遅くなる
- ◇税收の減少、緊縮税制
- ◇市財政の赤字化
- ◇道路景観の整備
- ◇インフラ老朽化

他

- ◇金のない無職の人が増加
- ◇交通弱者の孤立

重点課題検討イメージ

	強み	弱み
	①首都圏からのアクセスが良い ②緑と水の自然に恵まれ風水害が少ない ③大谷地区の景観と大谷石による建造物を保有 ④周辺部に豊かな住環境を得やすい ⑤自動車道路の整備が進んでいる	
機会	強みで機会を活かすための課題 ○	弱みを強化して機会を逃さないための課題 ○
脅威	強みで脅威を克服するための課題 ○	弱みを克服して最悪の事態を招かないための課題 ○